紙價錢五吊四百文至五吊
邊共上棚三十餘輛
邊共來七十餘輛
元寶六吊九百至六吊八百

一連紙 一連 一圓
一フールスカツプ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢
一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戶棚 七圓五十錢以上十圓
一絨毛布 一枚 四圓以上六圓五十錢
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 一ケ月以內 錢十五仙乃至十五
一長期連掲減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

告示

大日本帝國營口監督爲出示曉諭事照得貨財爲商業發達之資幣制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文橫濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓皆爲當市之流通貨幣用此等銀錢充兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違特示

右諭通知

明治三十九年二月

特別廣告

△資本金貳千四百萬圓
△積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

廣告取次所

連大市磐岐町三百三十八號 日華運輸公司
大連市盤城町四十九番地 岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同 全泰號
遼陽 遼陽俱樂部 谷口令朝太郎

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均者物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請速臨是荷者

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綢子洋紙鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部

這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一☐

三井洋行經理

明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程彷英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議（電話六十八番）

♧東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

♧東永茂

擺渡油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事 孫玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

♧西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

♧仁裕號

保險運各幫火輪船生意兼賣各制洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北警乙第十二號

♧元茂盛

油坊買賣元豆油豆餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙船輪船交易南北客商歷有年矣爲此謹白 開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

♧代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撒剌）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沾來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸君欲講可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炉子貨眞價實以應各主顧局急之需 圓本主人啓

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部 河岸通（電話五十二番）

東營口郵便局東隣 ●島田洋服店●

新民屯停車場前 ●同支店●

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

森病院

診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
△貧困患者の入院を諾す（取扱主任產婆大道しげ子）
院主 森 嬌
醫長 鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

大日本政府特定 官製營口付紙捲煙草 滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

♧和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鐵子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

♧田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式褲子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸

田中牛莊分莊謹啓

營口商業學校招入學生

本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

宗旨 造成辦公實業家
學科 修身、漢文、詞章、習字、算術、圖書、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操
學額 五十名
資格 十五歲以上文理明通者
學費 特免惟寄宿舍生自備饌實餘皆本校墊辦
入學 陰曆三月初一日
夜班 專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限

○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托童叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨種多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知

新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候

三井物產合名會社 牛莊支店（電話六十八番）

電氣諸機械

大販賣

本店 天津日本租界電話二〇〇
支店 營口永世街甲二一五號

三友洋行電機部（電一五四番）
主任 朱牟田寅吉

自煉瓦●瓦造 並に各種石材販賣

營口青堆子 加州組（電話八十六番）

倫敦電報

●モロッコ會議と警察問題

露國の代表者は唯一の解決なりとして佛西兩國にモロッコ國の警察權を委任すへきことをアルジェシラス會議に提議せり佛國代表者ルボイル氏は該提議に賛成して曰く佛國は二千名のモロッコ國人を以て巡査と爲し入大開港場に配置するの準備整へ居れりと獨國代表者ラドウイツ氏は經濟的均一を期する爲めに列國共同に警察權を有せしむへしと主張せり、英西葡三國の代表者はルボイル氏に賛成せり

●加奈太の義金募集

加奈太國オッタワ市に於て日本饑饉救濟の爲めに寄附金募集を開始せり

●英國海軍大演習と商船

英國海軍省は本年の夏期に催ふさる海軍大演習に參加すへき商船に對して一億圓の保險を附する筈なり

●加奈太の守備隊引揚

英領加奈太に在りし最後の英國守備隊は昨日ハリファックスを引揚けたり （以上三月六日發電）

雜報

●鐵道經營上に印したる日露政策の幻影（承前）

在仁川 小川柳坡

既に敵と相戰ふ味方の勢力を強大ならしめさる可からす、而して縱横檎縱、前衝後突、敵をして乘するの機なからしむるにあり、大連は幾多の補助的港灣と鐵路、各都市の連絡を親密ならしむる中樞となり、其發達を計らさる可からす、此點に於て奉安線と京義京釜の連絡か極めて重要なる所以なり

將來如何に大港灣の需要あるも大連にして輸出入貨物、絶無なれは到底大船舶の來泊は望まれさる筈なり、港灣の完備と鐵道の輸送力充實して貨物の呑吐盛に海陸の連絡容易なれは船舶の輻輳するは自然の勢なり、現在營口に輸入しつゝある石油、綿布、綿絲、麥粉、等の米國貨物は米船にて大連より入り、日本向きの大豆、豆糟等は大連より出つるに至らん、輸出入品を大連は吸收するは要するに鉄道賃銀の昂下にあり、賃銀の高下は一に輸送貨物の多寡と、鐵道經費の多少との率に出つるものとせは、貨物の山堆して輸送力缺乏は自から賃銀の高きを免れす、如何に車軌倉庫完備するも一線の鐵道は自から輸送限度力あり、或は賃銀の低減をのみ政策として貨物を堆積せしむれは、時日の遲滯より貨客を減するを以て鐵道の繁盛と大港灣としての繁榮は未たし

大連の輸出入貨物か俄かに一線路の輸送力不足を告くるものとは爲す可からさるも、今撫順炭坑を本年三月より豫定通り日に三千噸宛採掘せらるゝものとせは、少くも廿車輌を十五列車運轉せさる可からさるなり、其石炭か悉く大連に輸送せらるゝものと斷定す可からさるも、現に軍隊輸送は鐵嶺大連間十三列車を限度とせるに非すや、然らは石炭列車の外輸出入貨物及ひ人員の輸送列車は到底潤澤と云ふ可からす、歐亞貫通の列車開通の曉に列車の不足及ひ將車の不備等の爲、折角の貨客を浦鹽に吸收せらるゝものなり、故に吾は長春以南の鐵道は客車の完美と貨車の潤澤にして常に輸送力の餘裕を必要なりと信す

去りなから之れを廣軌になし更に復線となすか如きは鐵道經濟の許さゝる所なり、寧ろ一支の分支點を設けて互に線路の統一を計り、本線の補助機關となすは極めて必要にして利益なり、此線奉安線は確かに東清鐵道の擁護機關なり、此線に依りて東清鐵道は緩急相濟し其一端釜山に達して本國に連絡し、大連の援兵たらしめは歐洲より東洋に來遊するものは必す先つ一度奉天に到り北京に赴くか東南京城を經て東京に向ふにあらされは、南して大連より青島上海香港馬尼剌に向ふ可し、殊に本邦來遊者は大連若しくは釜山よりするは、浦鹽よりする便利多き理由あり、又東洋郵便物の如きも多くは大連に集注するを便とせん

撫順炭か果して瀛船用として大連方面に輸出さるか、瀛車用として北清地方なり、朝鮮方面に向ふか、孰れにせよ、東清線のみを石炭輸送にするの困難は前述の如し、將來大倉組の採掘せんとする本溪湖の石炭産出多量にして、奉安線の貨車に依賴するにせよ、尚は撫順の幾分を鴨綠江口及朝鮮方面に輸送するの餘力あるを信するなり、露國時代東清鐵道は收支相償はさりしに係わらす、我國か奉安線の如き人戶稀少の地に鐵道を敷設したるは無謀の如くにして然らさるは上述の理由に依り明かならん

三四年の間滿洲の輸出入貨物か東清奉安に依らさると假定するも、撫順烟臺本溪湖の三坑輸送を主とし、他の貨物の賃銀を低廉にし、本國人の手にて輸出入する貨物のみにても吸收し、傍ら清商を誘導し、北淸北韓航路の船舶を大連に集注し、各河運の航權を握りて小港灣と大連の連絡を密接せしめ、帆船貿易の勢力を削り、安東を握り、芝罘を壓し、釜山と相應して東海の海運を專有し●東は元山城津雄基灣に依りて浦鹽を控制するに至らは、露の極東經營亦何かあらん、鐵道と港灣の經營は一に政策の反映なり奉安線の一事以て我國の鐵道經營か經濟的なるのみならす、京義線と云ひ奉安線と云ひ、新民屯線と云ひ急激なる設備の板屋土窟の内に停車場を構へなから、機敏に列車を運轉し、奉安間すら、軍隊輸送をなし、新民屯線は支那人の便乘すら許可し、拙を速貴ひ、其間に軍用に資し、又民間の利便を計り、漸以て完成するの方針を取り、關係者の勉勵と忍耐は能く不完全なる機關の缺を補ゐ、危險と不安の間に能く經濟的鐵道を設備し得、毫も露國の如く宏大なる停車場と新市場との建設を爲さす、必要なる處にあらされは機關倉庫ある稍ゝ大なる車站を設けはす、到底異目面に經濟的にして小規模の經營振尙は活氣あるを覺ゆ、而して小商人勞働者等鐵道沿ふて移住し新天地を開かんとし、淸人と近して相依り、毫も彼等を迫害し侵畧するの風なく、當路者は專ら支那人を懷つけ、之れを開發せんと務むる外野心あるなし、露國人は自國の爲めにのみ、鐵道を敷きて他を顧みす●我國人は自他を利するの政策と鐵道を敷設す、故に鐵道を利用して遺憾なからんとす、露國は政策を主とし、鐵道の利用は第二となす、痕跡歷々たり、吾か眼に映したる日露兩國の政策の鐵道經營上に露れたる事實如此（完）

●牛家屯雜觀

▲貨車の配分 牛家屯驛に於ては從前は貨物を請求するには其都度輸送貨物の數量を記載して提出するの普通なりしに近頃に於ては豫め輸送を必要とする貨物の構内に積込み居る數量を記載したる請求書を提出し置かは驛に於て各人の請求書を對照し其記載の數量に參酌して使用貨物を通告する事となり尚ほ全驛に以上の請求書を提出せる者は最近に於て其人員五十五六名に上り居るか其の記載の貨物數量を合算すれば實に七千噸以上に達し實際の數量より五千噸以上の超過となるか之れ全く貨物不足の爲に輸送意の如くならされは一臺と雖も早く且つ多く其使用を許されんか爲に餘分に所持の數量を計算して記載し提出するか爲也

▲荷物貨車 目下全停車場構内に堆積せる貨物の總數は二千七八百噸にして其の全部の輸送を終了するには四百臺前後の貨車を必要とす顧て目下全驛に於ける輸送力を觀るに一日大抵三十四五臺也即ち其の全部を以て堆積の貨物輸送に充つるも十余日を要するに昨今貨物は毎日尙は多數に牛家屯に集積しつゝあれは一時に貨車の臺數增加せは知らす苟も然らさる以上は當分の間は構内堆積の荷物は減少せさる可しと云ふ

尙は昨今全驛の驛員等か職務に忠實ならす兎角公衆に不親切なるは昨日の本紙に記載せし如くなるか其の驛員か職務に忠實ならす而して公衆に不公平なるは之を左の一事に徵しても知るへし

前記の如く昨今に於ける全驛の輸送力は三十四五臺也即ち此の毎日の卅五六臺は全驛に堆積せる貨物の輸送に充てらる可き者たるや無論也而して目下堆積貨物に付て調査するに其の大部分は勿論、二万圓の保証金を納付して開業せる、輸送營業者の取扱に係る者とす既に然り、三十五六臺の貨車は當然復た其の大部分を輸送營業者の使用に供せさる可らす然かも實際に於て彼等の日々使用を許可せらるゝ資車は僅に一人一臺に過きす而して時としては其の一臺の資車も使用を許されさる事ありと云ふ營口に於て二万圓を納付し營業開始の許可を得たる者は十四名あり此の十四名の者は今日に於て各ゝ營業を開始せりと觀察するも即ち十四名也今夫れ此の營業者か毎日一臺の資車の使用を許可せらるとせは其の資車の總數は十四臺也之を前記の三十五臺より扣除せは殘數は實に二十一臺也知らす此の二十一臺は何物の使用に供しつゝあるか苟も軍用に供せさる限り假令何人の使用に供するにもせよ公然の營業者、最多の荷物所持者たる二万圓の保証金納付者を除ひて他に其の使用を許可するは豈に不都合の處置に非る無きを得んや輸送の營業者に非すと雖も固より荷物の輸送を必要とする者はあるへし然れとも苟も營業者に非る以上は其荷物は自己一人の所有に係る者と見て可也已に一人の荷物也其數量や知る可きのみ假令輸送營業者の數には限りあり而して個人托送には其人員に限り無しと爲すも双方の荷物を比較すれは無論多量に所持する者は營業者側也夫れ然り苟も業務に忠實に取扱に公平なれは資車の大部分は當然之を營業者に使用させしむる可らす

近頃道路頻に驛員と所謂才取との關係を云々する者は蓋し此の邊の事情より胚胎する者ならん其の事實の有無は深く之を知らすと雖も、蓋し一應首肯するに足らん也借問す驛長は何の辭を以て公衆に對し其執務の公平を主張せんとはする

▲拂下馬 牛家屯に於て支那馬の拂下けあるは一般の知了せる所なるか昨日は恰も其の第一回の拂下日にて營口より入札に出掛けたる者日淸人の双方に於て約八十名に達したりと云ふ今ま其結果を聞くに拂下馬は總數八十四頭有之りたるも見積り價格と入札價格との差額甚たしく結果遂に當日は不拂に終れりとなり一般の參考の爲に左に當日の見積り價格と其の入札價格を記載すへし

見積價格	入札價格
六十圓	四十五圓（最高）
五十圓	二十四圓（最高）

是に依つて之を見れは當日の不拂に終りたるは當然と謂ふへし入札者の一人は曰く當日の不拂は全く見積り價格の高過きたる爲也公平に拂下馬に付て評價せは善惡入れ混せて一頭の平均四十圓位の者也一頭四十圓位の平均とならは買手は無からさるにあらさる可きも其の以上の價にては買手絶無なるへし想ふに結局は見積り價格の値下けとなるへし云々

●營口淸國人職業別

軍政署に於ける最近の調査表を見るに左の如きものあり掲けて讀者の參考に供すへし

淸國人職業別取調表

職業別	員數	職業別	員數
苦力	一四六五五	煙局	二九六
宿屋	九八	官吏	六六
菓子商	七三	古物	四六
茶湯商	三九	教師	三三
鷄商	一四	雜貨商	三九八
鐵物商	三〇九	雜穀商	七九
鍛冶職	五〇	車夫	一七六
帽子商	二九	木匠	八二
書林	一	獸醫	三
果物商	三〇九	貿易商	一七
獸肉商	七五	衣服商	四九
飯館	八九	靴商	四八
菜種商	五三	雜貨卸商	一四
材木商	四三	兩換鐵商	四一
貸席	一〇一	豆腐商	三四
油商	四一	表飾師	三
土工職	一一	占易師	九
遊藝稼	一二	茶商	三三
醫師	二一	古着商	一八
兩換銀局	一五	洗濯屋	二四
湯屋	二〇	船乘業	一三六
傘商	六	鹽商	七
水先案內	四	青物商	八〇
漁業	一	酒商	二六
呉服商	三	煙草商	三五
裁縫職	一五	鏡屋商	七
瓦工	二〇	染物業	三〇
料理屋	一二	農業	二四
僧侶	三	馬車宿	一四
牛馬賣買	三一	時計商	二四
質商	三九	洋服仕立	四
運輸業	二八	牛乳屋	一
砂糖商	九	鞭製造商	二
寫眞	一三	行商人	五六
剃頭	九九	天秤商	二
薪炭商	七	飲食店	八
漆屋	四	演戲場	八
陶器商	一九	車製造	九
食麹屋	一八六	厨夫	一〇
錫類商	一三	工程業	一
醬油商	八	銀細工	二四
皮類商	三二	籠製造	二四
蓆商	二四	魚商	四六
請負業	二	画師	一一
西洋雜貨	三六	番頭稼ギヲナスモノ	二六
無職	二一五		

●滿洲內地の英語電報

本月七日より安東縣、旅順、大連、營口、遼陽、奉天及び奉天鐵道停車場內の七軍用通信所にて日韓滿の相互間發着普通英語電報の取扱を開始せりといふ

●藝妓仲居周易判斷 朴捨老

第三樓 本名福間フジヱ（明治廿一年九月六日生） おふじ

サア一服さつしやつたらポツ〳〵其次を見て進ぜうや、こちらへ寄らつしやれ、先生もう澤山で又持病が起りましたやうですから何れ出直して其内にお邪魔に出ます、ドツコイ其手は桑名の燒蛤ぢや、お前さんの持病は藝者衆のよく云ふ僞せ病で御座らうが、イーヱ、何んでもよろし例へ病氣であらうが、色男が尋ねて來ても一旦愚老が見掛けた上は、是が非でも見るところまで見ねば置かぬが愚老の持病ぢやヘヤヤヤヤマア〳〵ズツト來さつしやい、扨てお前さんには幼ない時から今日迄養育せられた六十近い婆さんが御座らうが、何んでも五六年前までは其婆さんと一所に小倉近在で暮らして御座つたであらうがナ、ところが日本も近年不景氣續きでお前さんたち親子も困まつて居られた所を幸に今の第三の親爺さん忠兵衛さんが北淸事件とか云ふ異國や日本が寄り集りて大國の支那と合戰を始めた頃天津に東雲と云ふ宿屋をして御座つたので少しの縁者になるのを宛てに婆さんの手を引いて、はる〳〵遠い天津に來さつしやつて一時は宿屋の手傳をしてお客のお給仕にも出た事が御座らうが、其中に內地で少し覺えた舞の手とやらを其儘に打ち捨てゝ置いては忘れるからと思のある婆さんの勸めでとう〳〵來々園とか云ふ鬼や狐の住居い所へお前さんはやられたのだ、最初の間は至つて温和なしく可愛舞子だ、美しい半玉だと云はれて、色慾亡者から餘程可愛がられて居つたが、朱に交はれば赤くなるでお前さんも一と月より二た月と月日の重なるにつれて、妾しアノ鬚の旦那が好きとか、アノ南京さんが好いとか、ポツ〳〵惡い道を見習ふて去年の八月にこちらへ來る前には一ヤ惚氣口の一ツ二ツ云ふやうにならしやつたで御座らうがな（まだ〳〵）

●强慾なる借家人 昨日軍政署警務課細井特務曹長の許へ口頭にて歎願する男子二名あり、其述ぶる所を聞くに要領は自分等は旅館東京樓向側なる雜貨店を營む某々なるが現在住居家賃高價なるを以て値下げを歎願するにあり、記者は傍にて之れを聞き坐ろに我同胞の强慾に一驚を喫したり抑も同所は昨年我軍の占領後同胞の續々渡來し家屋缺乏の爲め淸人家屋に高價なる家賃を支拂ふを其筋に於ても大に憂ひ種々考慮せられたる結果幸同所に空地あるを以て新に家屋を建築し一般在留者中の希望者に相當の家賃を徵し貸與せられたる者なり故に自然家賃の如きも其當時は勿論現今に至りても決して他より高價ならざるは門外者の吾人に於ても了知する所なり、然るに圖々しくも他に家賃の引下げらるゝを見て已等は安價なる家屋に住居するにも係らず尚引下げを出願するとは隨分前後を考へざる話ならずや現に其裏なる第一市場の如き同所は一軒一ヶ月十五圓の家賃にて貸し與へられたるが其後儲け主義の輩續出し已れは住居をなさず他に又貸しをなして中には四五十圓の家賃を仕拂ひ居るもあり其筋にては早くも之れを看破し斯る不正の所爲ある者は悉く家屋を取り上げ改めて現在の住居者に貸與したる等の實例あり之れに因つて考ふるも其筋に於て無法なる家賃を徵するが如き事は決して之れ無き事なり、故に其邊充分注意して猥に公務多忙なる官憲を煩はすが如き事なきを要す

●賭博犯 原籍北海道膽振國勇拂郡原直村大字振老現時永世街平野町居住大工職猪熊角三郎（卅四）及び原籍福岡縣門司市現時永世街矢島久藏方同居遊戲業伊藤正一（廿二）の兩人は去る六日午後十一時頃重盛街裕增店內にて車座となり鶏の目鷹の目にて丁半の眞最中を其筋の憲兵に現狀を認められ脈や應なしに珠數繫となりて領事館送りとは氣味のよき獲物なり

●違警罪一束 永世街菓子商飯田幸八（五十五）は自巳の店先にて放尿、南永世街梅月酌婦岡井イチ（廿二）及び同松原イヨ（廿三）の兩人は羽織袴を着用せず遠く陽啓門街を通行中、元神臨街井上公司雇人畑田長松（卅三）は筒袖のまゝ帽子を冠らず永世街通行中、二本町新猫酌婦阪本フク（廿）は羽織袴を着用せず前垂掛にて第一市場を徘徊中、何れも憲兵に現認せられ領事館送致の上違警罪の處分を受けたりと因に此後右樣の者は發見次第ピシ〳〵處罰し尙改悛せさる者は拘留の處罰を加ふと云ふ

水邊柳 黃雨

世のうきも水に流して糸柳
風のまに〳〵打靡く哉

花間鶯

朝また聞くも嬉しき鶯は
花の庵のあるじなりけり

大連列車時刻表

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上 六、〇〇	上 九、五七
營口至山海關	上 八、二〇	下 六、〇〇
山海關至唐山	上 一二、一八	下 六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上 八、〇〇	下 六、二〇
北京至天津	上 一一、二〇	下 五、四一
[illegible]	下 [illegible]	下 [illegible]

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間 下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇
金州	着	一一、〇九 發 一一、二九

驛名	發着	時刻
遼陽	着午後	三、五〇 發 四、五五
大石橋	着	一〇、三二 發 一一、三五
金州	着翌前	二、二〇 發 三、一〇
大連	着	五、三二

上り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三二

營口線下り列車

驛名	發着	時刻
大石橋	發午前	一〇、〇〇

天氣

營口地方天氣豫報 自三月八日午後六時 至三月九日午後六時

小說

新作小說 **おとし胤**（八）　德田秋聲

自分の心一ツで、何れとも話が定まる。光のやうな少女が、何んといふ艱しい臺の上に立たせられたものであらう。光はまた、何んといふ不幸な身の上にさせられたものであらう。分別のある立派な男でも、少し艱しい問題になると、鳥渡誰かに相談したくなるものである。相談すればまた、好い智慧も借りられるものである。光には、此の相談をする人が無い。何うでも獨で、此の決心を固めなければならぬ。

勿論父に逢ひたいことは山々である、精一抔である。心は疾うに父の許へ飛んで行ツてゐるのである。雖然祖父樣の心の底が解らぬ。心委せと謂へば、寛大の沙汰ではあるけれども、此の寛大の裏には「勝手にしろ！」と恐ろしい睨があるやうに思はれる。何んだか突放されたやうにも思はれる。これが光の苦勞で、何れとも決し兼ねる一ツの原因。

次に巨漢に謂はれた言が、ハツキリと耳に殘ツてゐる、否、現に耳元で私語かれてゐるやうに思はれる。

「父樣の許へ行くと苦勞しなければならぬ。そして母樣のやうな不幸な目に逢ツて夭死をしなければならぬ。」

何んといふ恐ろしい前觸であらう。これもまた一ツの原因となツて、光の決心は容易に定まらぬのであツた。決心は定まらぬけれども父に逢ひたいことだけは確だ。それで光は、何時まで經てもハツキリした返事することが出來ない。するとまた合田は、傍から煽り立てるやうに、

「何も其樣なにお考へ遊ばすやうな艱かしいことではございません。お祖父樣は、貴方のお心委せだと有仰るではございませんか。何方とも貴方のお心次第！」

「ですけれども……」と光は、義盡らぬ返事をして、瞥と祖父樣の顏を見た。そして、「ね、お祖父さん、何うすれば可いでせう。」

「おやから、それは、其方の心委せだと謂つとるぢやないか。」

と何んとなく冷な言だ。

「まア、意地の惡いと！」光は、もう少しで口を滑らせようとして、「だツて、私には何うすれば可いか解らないのよ。」

「何有、解らんことがあるものか。其方か東京へ行かうと思つたら行けば可いのぢや。」

「そりや私、東京へ行きたいわ……東京へ行くよりも、父樣に逢ひたくツてならないのよ。」

「それでは、行くが可からう。」

「お祖父樣は？……」

「俺か。俺は行かん。」

「ぢや此方にゐらツしやるの、あの、お獨で？……」

「然うぢや。」

光は、これも氣掛である。此の老人だけを一人殘して東京へ行く氣にはなれぬ。それで、

「何故東京へゐらツしやらないの？　お祖父樣も御一所だと、私直にでも行くけれども。」

寛齋は、冷にそれを聞流して、

「いや、俺のことは氣に懸くるには及ばんのぢや。其方は、其方だけの心を定めれば可いのぢや。」

「私は私だけの？……」

「然うぢや。」

此の老人の口からは、もう他人風が吹いて出るやうに思はれる。

合田は、祖父樣に突放された光に、力を付けるやうに、

「いや、お孃樣、何も御心配なさることはありません。お祖父樣は、何も貴方樣の御自由にと有仰るのでございます。」

「でも何んだか……」と光は、また垂頭いて、少時何やら考へてゐて、「あの、何んだて父樣の許へ參りますと、大變な苦勞をしなければならないツて、眞箇？」

寛齋は、驚いて、眼を睜ツた、そして熟と光の顏を見詰めた。

合田は、慌てゝ、それを秘蔽せて、

「何んだツて、お孃樣、其樣な……其樣な馬鹿なことがあツて耐るものですか。何しろ御華族でゐらツしやいます、其の令孃……而も御家督を御相續なさるのでございますもの、誰が、お孃樣に憂い目をお見せ申しませう。君公には必ず、蝶よ花よと御寵愛……何樣なに幸な御身分におなりなさるか知れません。」

「だツて、海鹿家と謂へば、華族の中でも、評判の嫌な家だといふぢやありませんか。お家庭が何時も紛紜して！」

と光は、遠慮なく謂放ツた。

寛齋は、呆れた眼を睜るばかり。

合田は、更に狼狽えて、

「と、とんでも無いことでございます。痕跡も無い噓……一体、誰が其樣なことを申しました。」

と謂ひながら、鋭い眼を光らせて、屹と寛齋の顏を睨ツた。

●鐵嶺通信

三月四日　桑村生

▲清政府の抗議　鉄嶺商品陳列館創置のことは屢報の如くなるが清國官憲は軍事行動繼續期間にある今日に於て未た開市場ならさる鐵嶺に於て通商機關たる商品陳列所を設立するを不當なりとし公文を以て我に抗議を提出せり我軍憲の復答なりと云ふを聞くに我帝國の官地に在る官有家屋に於て商品の見本陳列を爲し公衆に示して以て來るへき通商時期に便宜と指導とを與ふるものにして現今直ちに販賣を開始して交易の機關たらしむるにあらす地域我主權の下にあり敢て貴國の關知し得へき處にあらすとあり吾人は尤も痛快を感すると共に其大成を期俟する處なり

▲婦人の居住と營業　は愈々來る十二日より認可せらるゝこととなれるは既電の如し（記者曰く此電報不着）久しく沈爵せる當地の邦人は遽かに活氣を現出し來り家屋の營繕工事は更に大規模を以て進捗し各々人を各地に派して移入の備準に汲々たり同日以後直ちに數百名の女軍入嶺あるへく玆に初めて圓轉滑脫なる新天地を現出するに至るへしと雖來る十日の紀念日に際し女人の堂に充滿するを見る能はさるは一般の尤も遺憾とする處なるへし

廣告

公告

電話交換加入者募集

當局電話交換加入希望の者は至急申込可し

追而二月十五日以前に申込みあるも未た架設に至らさるものは重て申込を要す

明治三十九年三月三日

營口軍政署電話局

東北凶作地窮民義捐者芳名追加

一銀五圓　營口　趙水田
一仝五圓　仝　鄭藍如
一仝五圓　仝　夏瑶臣
計十五圓
累計四千七百九十二圓九十五錢

本日累計は三月七日迄の總計に本日の追加金を加へたるものより八圓を減せり右は三月三日計八百八十五圓は八百九十五圓三月四日計三百七十圓は三百五十二圓の誤りに付之を訂正したるものなり

建築請負廣告

弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より專管居留地へ各事業家之建築多大なるもの推測し就ては本年より一層事業を擴張し各位の希望に應じ正實と叮嚀を主とし勉强可仕尚構造法等は多額を要せずして强固なる建築法を研究在候間建築御希望の御方は御通知次第參堂御相談可申御注文之程偏に奉願候

營口永世街二本町一百五十八號　建築設計依賴に應ず　工棟組

廣告

左の日割に依り支那馬賣却す買受望の者は午前九時より叅集すべし

日割　競賣場
三月七日より十五日迄　遼陽城內南門にて
仝　八日、九日　牛家屯にて
仝　九日、十日　旅順にて
仝　十一日　瓦房店にて
仝　十五日　金州にて

第十六師團馬匹整理部

拍賣馬匹告白

按照以下所定各日發賣中國所產馬匹價值格外從廉有願購者請於以下所開各日之午前九鐘到以下所開列之各處一看爲幸

計開
西曆三月初七至十五日　遼陽城內南門
初八日、初九日　牛家屯
初九日、初十日　旅順
十一日　瓦房店
十五日　金爲

第十六師團馬匹整理部告白

競爭入札廣告

第一號　生牛皮　約二千枚
第二號　生羊皮　約四百五十枚
第三號　生豚皮　約四百二十枚
第四號　生烏拉靴　約一萬足

以上入札保證金各見積代金百分の五以上

右賣却す買受望みの者は二月二十五日より三月十一日迄に當支庫に出頭入札心得書契約書案及現品熟覽の上三月十二日午前十一時迄に入札書を當支庫に差出すべし即時開札す

此契約は滿洲軍倉庫奉天支倉庫長橋元勝造擔任す

明治三十九年二月二十五日

滿洲軍倉庫奉天支庫

拍賣告白

告白奉天滿洲軍支倉庫官署准於日中曆二月十八日（日曆三月十二日）拍賣左開牛羊猪等皮貨有願包買者自日曆三月十一日（中曆二月十七日）止請到該署詳看貨物及呈單條規契約樣式等書限於日曆三月十二日午前十一時（中曆二月十八日上午十點鐘）呈單即時拆封定局呈單者必要將遞價百分之五定銀先交作押如無成局仍將原定繳還立契官之滿洲軍倉庫奉天支庫長橋元勝造

計
第一號　生牛皮　約二千張
第二號　生羊皮　約四百五十張
第三號　生猪皮　約四百二十張
第四號　烏拉靴　約一萬雙

明治三十九年二月二十五日
光緒三十二年二月初三日

故沖禎介

追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度くと存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也

一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、紙判は美濃紙大
一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件あらは左に

新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政則
大清通運公司安田貞藏

同志友人　敬白

○フレノロジー

○西洋揣骨相術　運命窮通歷々指陳如神奕
○人々の頭腦を觀測して身の上はんだんをなす
○觀測料隨意

營口豊濟門街第四十四號李俊氏宅の西手丁

利生堂

諸鐵工製作

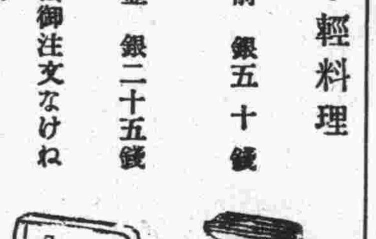
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口綛定門街
ブツシ商會東

喜川鐵工場

御手輕料理

一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一銅壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候



營口元帥廟街二〇九號

月　日　翁亭

火災保險金受領廣告

一金一百拾五圓廿錢也

右ハ去三日當店離屋燒失ノ保險金トシテ明治火災保險株式會社牛莊代理店三井物產會社支店ヨリ本日受領致候

三月六日　祇園閣　田中寅次郎

京北 扶桑旅館

東單牌樓大街路西

客室清潔料理鮮新

旅館讓渡

新築　客室十五間

雜貨部擴張に付旅館料理の全部營業其儘讓渡し度御企望者は御來談を請ふ

奉天小西邊門外拾間房　浮世館

奉天日本旅館 瀋陽館

家屋宏壯清潔
接待優遇懇切

開放全時一開業
奉天小西門外ナ參路北

營口

本店　彌生
電話四一番

支店　彌生
鐵嶺西門外大街

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

一位置　西門より西の方五六軒北側に候
一構造　室內裝飾等日本式特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし
一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

館主宮下只七郎

會席料理 **三日月**
營口警務課前南に入る

滿洲大販賣所

營口(張松林邸内) 池上出張店
遼陽停車場前 池上出張店
奉天 池上出張店

雜貨すし米
醬油清酒 大樽 半樽
木炭

營口西北街
阪神組

雜貨卸商

在元營口神廟街
關東公司雜貨部

Yano & Co.
矢野洋行
電話一三七 Telephone No. 137

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段ぁ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

淺田飴
あさだあめ

肺痨痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街 東瀛大藥房
房主 藥劑師中馬龍造

石材、碎石
並に自家製造 廉價販賣
瓦、煉瓦

營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

材木
荒物
販賣

營口永世街第一八四號平野町
秋田洋行
本店 下關 秋田寅之輔商店

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢
醬油 瓶詰樽詰
菓子
罐詰 色々
洋酒類
右取次販賣

牛莊港東營口
宅合名會社 營口支店

ゼム
財茉
口中香藥

ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑
財茉者芳香馥郁而美味可愛靈約也

大日本東京
山崎愛國堂
大藥房處修

大清國發賣處
淺野大藥房
營口永世街(二本町)
各國有名靈藥總發賣處

御旅館
天津
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理

弊店儀從來平野町に於て左の營業致し居候處此度商業擴張の爲左の所へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉願上候

豐濟門街李俊の前
ペンキ塗請負 京阪組

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)

即席和洋料理 東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需應にず

元酒保員 池田(林とも云ふ)圭太郎 氏に急用あり即刻歸連せよ、尚同氏の居所御承知の御方は御一報願たし相當謝禮す
大連市 博文館出張所 大谷

周
東清鐵道
裕和盛運輸局

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專辦中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人周鶴雲謹啓
(電話百八十一號)
寓東營口西北街旗昌洋行對門

官製口付莨、文房具
和洋酒類
罐詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
白米
卸商

營口西北街
十一
豐生洋行
(電話十三番)

軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣

營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結ひ廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

上海
中井洋行
專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與H本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張，本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

時刻

	上	下
塘沽至北京	上六、○○	下二、○六
天津至北京	上二、二○	下五、二○
山海關至北京	上八、○○	下六、四五
唐山至山海關	上六、○○	下一、五八
山海關至營口	上七、○五	下四、五五
溝邦子至新民	上三、○○	下六、五七

上り列車
奉天　着午後　一二、○六
奉天發　午前　一一、○○

驛名	發着	時刻
大連	發午前	七、三○
熊岳	着	一○、四九
營口	發午後	十○、二五
大石橋	着翌前	一二、二○

豫報

昨氣温

昨日の氣温		昨年との比
最高温度	四十度六	高二十七度
最低温度	二十四度八	高二十五度七

宮門抄

初十日
理藩院　光祿寺　八旗兩翼值日無引　見　陳名侃等謝授缺
恩
召見軍機　特圖慎
政務處翰林院各遞封奏一件
軍機大臣面奉　諭旨本月十一日祭
社稷壇遣禮親王恭代行禮欽此
十一日
外務部　欽天監　侍衛處值日無引　見　世榮謝授侍講學士
恩　王中堂續假十日
召見軍機　聯芳
外務部王步瀛各遞封奏一件

上諭恭錄

初十日奉
上諭湖南按察使着莊賡良補授欽此
上諭江寧布政使着繼昌補授欽此
十一日奉
上諭從來敦篤邦交端在講信修睦朝廷與東西各國通商立約開誠布公固已情誼交孚毫無隔閡各國亦均稱歡洽親密有加中外實天下所共悉乃聞近日以來訛言四起適偶有不虞之暴動遂突生排外之謠傳市虎杯蛇衆情惶駭推原其故必由奸人播弄匪徒煽惑或思離間我交好或欲激怒我民心詭計陰謀莫可究詰關繫大局良非淺鮮不得不明白宣示一釋群疑方今時屆艱難正賴列邦互相聯絡庶幾寰宇協和豈有自啓猜嫌擾害治安之理我君臣上下惟當力戒因循勵精圖治以實心行實政期于漸致富強各處學生尤當深明忠愛爭自濯磨精修本業學成待用以儲精幹之才應遵照奏定學堂禁令章程束身自愛尤不得干預外交妄生議論總之團体原宜固結而斷不可有仇視外洋之心權利固當保全而斷不可有違背條約之舉若士大夫宗旨不明愚民何將所倡導一有匪人乘機滋事必致貽害地方經此次宣諭之後着各省將軍督撫嚴飭該文武各官認眞防範所有外國人命財產及各教堂均應一体切實保護即遇不平之事應候官爲理論如有造言生事任意妄爲者必非安分守法之人即着赶緊查拿立行究辦倘或防護不力致出重情定將該地方官從重懲處決不姑容該將軍督撫等務即剴切曉示隨時約束懲前毖後防患未然用副國家輯睦友邦保安黎庶之至意欽此
旨外務部左丞着鄒嘉來補授朱寶奎着補授外務部右參議
欽此

論說

論教案宜持平辦理

自古帝王馭世之方。治民之道。持之以平而已。惟平故緩獄措刑。而不厭其寬、詰姦鋤暴。而不厭其嚴、治具纖悉。而不厭其煩。獨持大体。而不厭其簡。苟不得其平。而徒拘於一偏。方其寬也。則奸宄肆行。而不知詰。方其嚴也。則無辜觸網。而不知恤。方其煩也。則天下多事。而吏弗能紀。方其簡也。則教弛法廢。而上不知飭。安在其能正風俗而感人心乎。漢唐宋之所以有古治遺意者。則以寬嚴煩簡。尚能衡之以平耳。其所以不如三代者。則以合而有未盡合也。我國家紹承先烈。整齊風俗。和輯人心。凡民間訴訟之興、爭競之開。固莫不據事衡情。平心而斷定之。刑律具在。例案可稽。固昭然揭如日月。而無所容其欺飾也。而獨至民教不和之案。稍有未愼。則匪徒從中煽惑。乘機起事。雖極力彈壓。而伏積之深。發之已暴。幾有銅山西傾。洛鐘東應之象。此無他。歷來辦理教案。於持平兩字。未免有缺點耳。攷西教之流布中國。始於有明萬歷朝。意大利國利瑪竇諸人。先後奉命製天象儀器。載在史册。一一可據。而自教士言之。則唐貞觀時。已有大秦僧阿羅本等。載經典東來。宣揚景教。歷宋元明以迄。昭代。時明時晦。不絕如縷。洎道光末年。通商各口。傳教之事。載在約章。於是教士之航海而來者。負笈擔簦。遍歷各省。其教日推而日廣。其患亦愈積而愈深。荼毒生靈。賠累無已。致有識者窃窃然抱世局之憂。初不解天之以教案禍我中國、何酷烈之一至於此極哉。庚子之變。數千百年來。驚天動地轟然駭人听聞之一大奇變也。其端肇於拳匪。其机實伏於教徒。自聯軍入城。兩宮西狩。刀兵之慘。言者痛心。和約告成。凡身列教民者。雖得如分之賠償。究之方拳匪起事之初。教民之慘遭其毒者。已不可勝計。財產雖可復償。生命不可再續。加以教士之深明其原因者。懲前毖後。亦不過爲格外之袒護是以邇來北地教案。較少於南方。北方教民。亦較和平於南方也。近者如江浙閩鄂諸省。教案迭出。其患未已。而江西南昌教案。又出見於世焉。朝廷命政務處。妥議保教章程。仰見聖明燭照。無微不至。窃以爲輯和民教。在今日有相安之法。而宜助之以勢力。有萬全之策。而宜濟之以威權。蓋不論爲民爲教。但當持之以平。保教保民。無偏無頗。未可曲意阿順。盡授權於彼也。請徵之於日本。初日本嚴禁教徒。殺戮至四十萬人之衆、洎明治維新。換約通好。無一事不賢之於西人。公使之館。教主之堂。衡宇相望。上自天時地理官制兵備。暨典章制度語言文字。以及飲食居處之細。玩好遊戲之微。無一不取法泰西。目營心醉。出所儲金粟玉帛。以購遠物。惟恐弗得。如是則方尊崇之不暇。奉敬之不遑。夫何至釀交涉之案乎。而要非徒尊榮之奉敬之已也。又限之以法律、制之以條款。使知所遵守。而不得縱恣其行爲。東瀛自變法以來。西教盛行。而曾未釀成巨案者。厥故在此。(未完)

中外要聞

●俄約遲延之原因　聞俄館消悉俄使近日不開議者實已將中國所開議之條款電致該國政府核奪以此俄公使藉端故意遲延俟待本國來電再與中國開議云

●兩宮垂詢要政　昨兩宮面諭軍機政務王大臣變通漕折不得徒有虛名而無實際又問政務王大臣參訂各省保教章程迅速妥訂頒行各省等諭

●各國要求　近日英美德法各國公使均至外部問以東省開埠如何各國咸請外部允准四國與日本同沾利益外部堂憲應接無停又以各項交涉紛繁均婉言答以俟東省開放有期再與各公使會議云云

●電詢教案　外務部電致江西巡撫飭將教士殺害南昌縣汪令全案案由作速電覆以憑與該國公使爭論

雜報

●法使注意路工　昨法國公使復至外部提及廣西鐵路英人不得干預等語然南昌教案並未議及不解何故

●奉省請款　日前趙次帥來電請東省善後事宜招兵撫民需款孔亟請籌撥的款以濟要需等語聞政府於接電後與戶部財政處籌議擬辦

●錢漕彙誌　政府飭查各州縣漕粮原額出地而有荒夫凡遇報墾升科于漕粮正耗內加入升科兌運如無荒夫漕粮足額遇有升科漕米皆解司充餉倘謨將足漕州縣升科應行解司之項造入漕項奏銷册內者即當聲明更正又聞湖北每年額徵粮米運倉者名曰北漕廳給荆州官兵者名曰南漕二項合收分解如有分項徵收零星多取者該督撫嚴參治罪倘查有別省收漕地方有分收者著該督撫大員酌量查禁又政府諭飭蘇松二府所收倉粮交兌之外果有盈餘該州縣報明存貯公所以便修理倉廒及賑濟之需倘有藉盈餘名色加收斛面及該道扶同徇隱查出一併嚴處

●汽車爬軌載車　昨有本埠驛行人由寬城子來云日前有貨車十三輛向寬城子發運至城西十八里須東越軌路而遠望汽車南來其後車疾呼停進少待詎該僕戇而不從扶轅直上則汽車急示以抽鼻宛若鐵笛一聲竟將載車馭馬驚逸疾循軌路馳奔頃而汽車飛至爬羅其上壓斃載車坐客二名僕夫折股畀向城內調治未悉性命如何云

●名妓到營　聞本埠鳳鳴茶園西側新到有上海名妓雙麟者丰姿綽約雅致翩翩而於應酬一事尤十分圓到想探花使者又爭以先覩爲快矣

●禁止車馬過河　前日本港河北有一馬車過河將涉澄溝不防全車墮沈冰下幸遇多人急將四馬卸而援上車遂拽出本埠軍憲爲前車之鑒乃派兵勇等於西海關岸邏守禁止車馬濟河以春冰易於解凍恐愚夫無知誤遭滅頂之凶云

●貧民絡繹來埠　山東直隸二省貧民每當春令多來關東謀求生業然程遠資斧多艱幸鐵軌總局特以專車運送由山東直隸至奉天營口等處每人只收銀圓三元故近已由大津乘汽車來埠者絡繹不絕聞已有三千餘名云

異聞

●菌毒一日殺百四十餘人　寒山寺在姑蘇城唐人詩已累見之千餘年來爲吳下大禪院道光年間寺僧之老者弱者任持者過客者共一百四十餘人忽一日盡死寺中既已無人鄉保爲之報縣縣令前來相驗適一廚夫死而復蘇縣令問諸僧今日食何物對曰食麪縣令復詳詢煮麪之人與澆麪之湯廚夫對曰今日値方丈和尙生日特設素麪以供諸僧我適見後園中有菌二枚紫色鮮豔其大徑尺因取以調羹澆麪但覺其香味鮮美異常未及親嘗忽然頭暈倒地不省人事今甫醒而始知諸僧食麪死矣不知是何故也縣令使導至後園採菌處則復見有菌一枚其大如扇鮮豔無匹命役摘菌菌下有兩大穴縣令復集夫役持鍬鐝循其穴而發掘之丈餘以下見有赤練蛇大小數百尾有長至數丈者有頭大如巨盌者蓋兩穴口爲衆蛇出入之所菌乃蛇之毒氣所噓以自蔽其穴者諸僧旣皆食之故無一生廚夫僅臭其香味故幸而復蘇縣令乃命儲火種發鳥槍一舉焚之蛇之種類盡滅而寒山寺由此亦廢

NEWCHWANG, FRIDAY, MARCH 9, 1906.

The 6th Newchwang debate held last Wednesday evening, Dr. Phillips presiding, resulted in Mr. Carlos's victory for 'war,' by 20 against 15 votes polled by his opponent Mr. H. F. Bush who led the 'arbitration' camp.

Mr. Carlos. (War.) "As Bismarck said, "great international questions in our times can be solved only with blood and steel." Nations have collapsed from too much love of peace, which has brought about China's clumsy helplessness. The warlike spirit of the 'samurai' has made Japan what she is to-day. Without struggle, no progress can be attained. Nature has set down war as an eternal institution for punishment, which arbitration will but obstruct and is, therefore, blasphemous. Arbitration may obviate war for a decade or two, but must give way to the latter for the final settlement of disputes. It is an avowedly good thing ideally, but before the 10 Commandments are fulfilled on earth, it can never serve the purpose intended for. The horrors and losses of war taken into account, it will remain now and ever, till the Millenium arrives, which lies in the infinite future."

Mr. Bush. (Arb.) "Mr. Carlos's contention holding up war as a remedy for overpopulation is taken an exception to. The law of the survival of the fittest will eliminate the unfit, but war only subverts the principle by its wanton destruction of the noblest heroes. Wars have been waged for the benefit of the few and to the disadvantage of the majority, thereby placing the fair damsel of the State under the mercy of the few mailfisted rowdies. Another plea of his for war that it alone sustains and nurtures heroism is a fallacy. The noblest deeds of man displaying the truest form of heroism have been performed, not on the battlefield but in the cause of the advancement and common good of mankind. As the State now limits the evil-proclivities of individuals, so will the civilized would, as a whole, soon take the position of the State it now occupies and the international tribunal will come to be a potent reality."

Mr. Forzinetti. (War.) "The Czar who presided at the Hague Conference is conceded to be a good peaceful gentleman personally, but in spite of himself, he allowed the despotic bureaucracy to plunge his empire into the late unholy war, making the Conference a big farce of the century."

Mr. Webster. (Arb.) "War, granted to be an evil, although necessary on few occasions, is doomed to be put out of the Universe where no evil can survive. If peace is to be secured and justice satisfied by any means other than war, it is by arbitration, a substitute to be most heartily welcomed. The common humanity and morality of human race will make war impossible, not arbitration, which must supersede the other in the very nature of things."

D. Daly. (War.) "The late war has exposed the rottenness of Russian oligarchy and started in good earnest the internal struggle for freedom. Russia, too, has derived from the war a benefit which nothing else could give. A nation wanting in military spirit stagnates and is unfit to defend herself. For example, look at the present China."

Capt. Sloss. (Arb.) "The education system will make arbitration practicable. Do not put me before the muzzle of the gun to fight for the glory of a few figureheads delirious with the fever of personal ambition. It is scandalous!"

Mr. McCaslin. (Arb.) "We will put every statesman thirsting for blood in the van of the battlearray and see how they may enjoy the sport."

Mr. Richards. (War.) "Were China to raise her tariff rates to-day say to the level of those the United States levies, to stop the influx of foreign goods, would the Powers refer the case to arbitration? Positively not. Instead, guns would swiftly show up in evidence ready for business."

(To be Continued.)

Silver still on the decline. (Mar. 8, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	97¾
	" Dem'd	98
	P'ate 15 d/s.	98¾
SHANGHAI	Bank T.T.	71
	" Dem'd	71¼
	P'ate 15 d/s.	72¼
TIENTSIN	Bank T.T.	102¼
	" Dem'd	102
	P'ate 10d/s.	101
LONDON	Bank T.T.	1/11 13/16
	" De'd	1/11⅞
	Cr. 4 m/s.	2/-½
AMERICA	Bank T.T.	48¼
	" Dem'd	48⅛
	Cr, 4 m/s.	50
Bar silver	- - -	29⅝

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル
料理 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一）麻田久二

旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

京 東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號
料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園
旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

爲替相場（三月八日）
日本向 九十八圓（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩四分ノ一（同）
天津向 一百〇二圓（百弗に付）
芝罘向 天津向ト仝

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

營口元神廟街 さるそば 第一更科 さるそば 第二更科

御料理 柳亭 永世街鶴の湯角

叮嚀專一 御料理 一力 豊濟門街二三 店主 玉岡

並ニ温泉 旭日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号
和洋料理 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号
御旅館

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園提

旅館西洋料理館 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝
一仙花紙 一帖（六十枚） 七圓五十七錢 六十錢

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付二願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居 新來 金城館料理部

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

旅館 富喜樓
室内は極清潔防寒之設備あり鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余 南大街 樓主敬白

御旅館 豐陽館 上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主 米田藤吉

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

一全 狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一 百枚 十三錢以上十八錢
室内裝飾品及寢具 矢野洋行
一 蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一 座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓

小料理 滿月 平の町（電四一二）
滿月支店 平の町（元都橋跡）
店主 吉永勝志

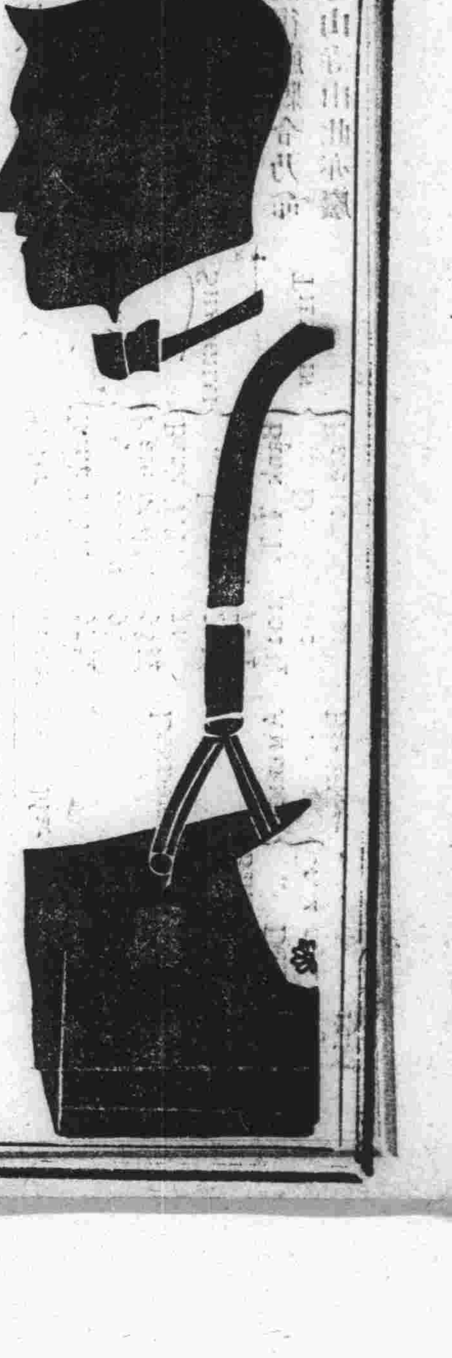
和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に需附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）
各位樣

●本日午后六時ヨリ二本町松榮座ニ於テ
●活動大寫眞
●日俄戰況幷ニ餘興ニ元錄踊等種々

旅館料理屋ニ對スル酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尚ほ不拂の御方は其姓名を揭げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口 旅館料理屋同業組合

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一海關手續
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號 大清通運公司 營口支店

一疊表
一薄椽 十枚 二圓六十錢以上三圓
一麻緞通 一疊敷 八圓
一綿緞通 仝 三圓
一白耶多錢 仝 三圓五十錢



加藤洋行（電話八十番）
營口
新着！
雛人形 東京市松、はこせこ、鏡入、
紙入、蒔繪紙入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模樣、絹首卷、ハンカチーフ、花簪、
鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髮道具類、
春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、

發賣 料木 標子 木板
清國營口二本町二五五號
塩川商會
主任 鹽川峰吉（電話一三六番）
遼陽小西門内 鹽川商會

●建築用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干塩魚 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
喜久洋行
永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停場附近民政署前兒玉町

發賣 標子 木板 料木
營口青堆子
清水寧木局

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 銀四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙